

# 福山市の発生状況（GWを終えて）

◆ 4月26日～ **新規患者 発生ゼロ!!**

【評価】市内において感染源が存在する可能性が低い

## ○ 本市の感染状況（5月24日現在）

項目 ※人口10万人当たり	福山市	広島県 <small>(5/22現在)</small>	全国 <small>(5/22現在)</small>
PCR検査実施人数	230.1人	239.3人	180.6人
累積陽性者数	5.0人	6.0人	13.0人
陽性率	2.2%	2.5%	7.2%

## ○ 医療提供体制（5月24日現在）

区分	福山・府中圏域	広島県
病床の空床率	97.7% (43/44床)	96.2% (256/266床)
病床数(ピーク時重症病床数推定)	44床 (31床)	266床 (169床)
軽症患者の宿泊療養施設	※ 今後, 市内へ100室確保	130室

# 第2波への備え

区分		現在	今後
検査体制	PCR検査	1日100検体 ⇒ <b>120</b> 検体 の検査可能な体制を整備 <b>5/14～市保健所で検査開始</b> (当面20検体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>積極的なPCR検査の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ オンライン診療からの検査拡大</li> <li>▶ 感染症指定医療機関等への入院予定患者</li> <li>▶ 高齢者施設の職員</li> <li>▶ 接触者への積極的検査（患者発生時）</li> </ul> </li> </ul>
	抗原検査	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>検査費・受診料等の全額補助を制度化（当面1,000件）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 検査の迅速化と体制強化</li> </ul> </li> </ul>
医療提供体制	重症患者の病床	<b>44 床</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>必要に応じて増床</b> ※ピーク時推定必要数(厚生労働省)：31床</li> </ul>
	人工呼吸器	<b>44 台</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>必要に応じて県内で調整</b> ※ピーク時推定必要数(厚生労働省)：25台</li> </ul>
	軽症患者の宿泊療養施設	県において <b>130</b> 室 確保	加えて、市内へ <b>100</b> 室 確保

# 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

## — 職場編 —

\* 家庭編も作成予定

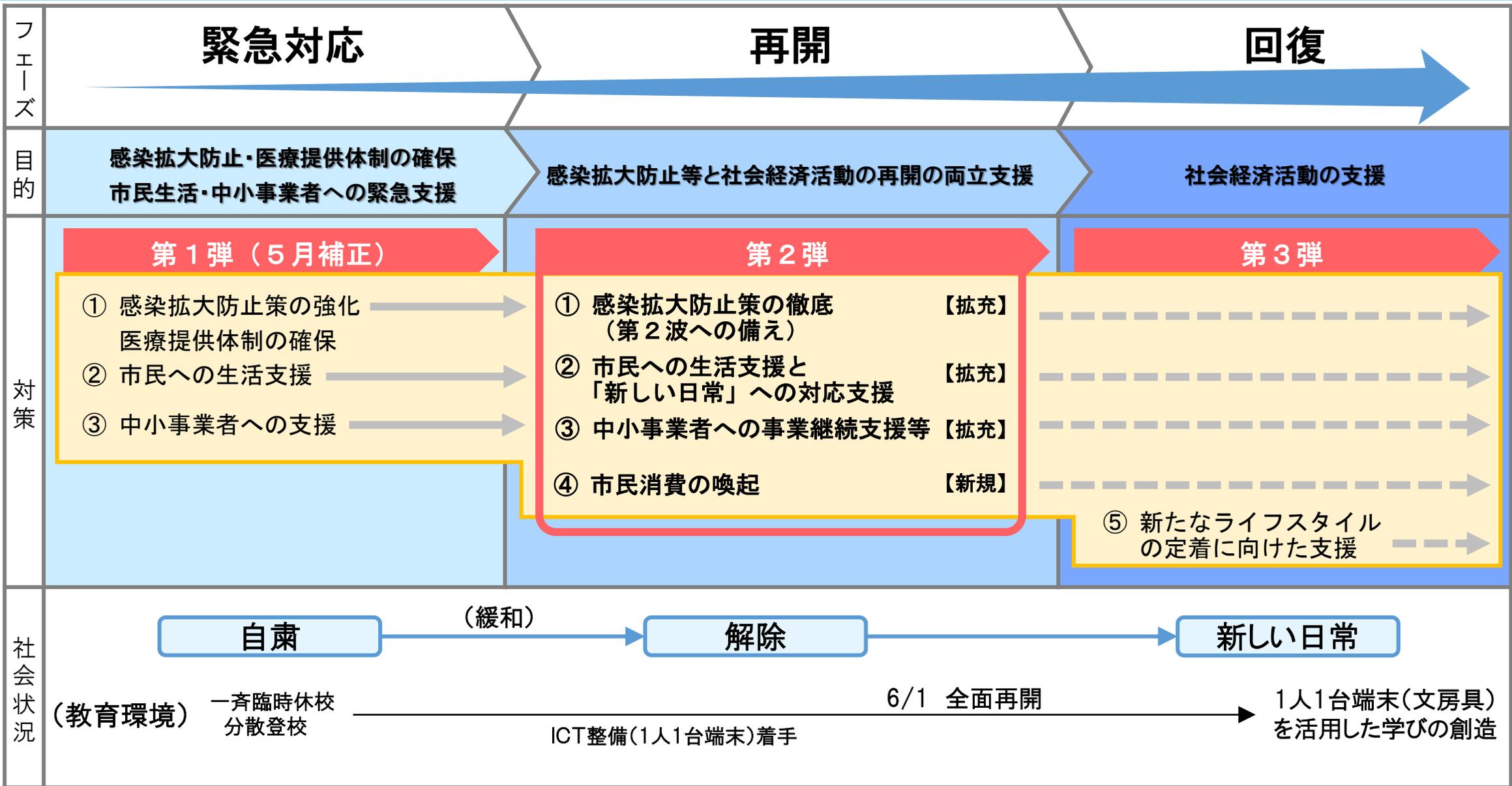
目 的	職場における新型コロナウイルス感染症の発生予防, 発生時, 終息にむけての各段階での対策を明確に示すことで円滑な事業活動に繋げる
内 容	<b>○ 発生予防の対策</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・現時点での新型コロナウイルス感染症の知見の周知</li><li>・平常時における職場での健康管理・感染予防対策</li></ul>
	<b>○ 発生時の対策</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・職場での感染拡大防止対策(保健所との連携のあり方等)</li><li>・情報公開についての考え方</li><li>・取引先・顧客への拡大防止対策</li><li>・患者の復職に向けた対応</li></ul>
	<b>○ 終息に向けての対策</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・風評被害の払拭の取組</li><li>・人権擁護の取組</li></ul>

# 「市民生活」と「経済活動」を守るためのロードマップ

～新型コロナウイルス対策～

新たなライフスタイルへ

終息



# コロナ対策 第2弾 の方向性

## ① 感染拡大防止策の徹底（第2波への備え） 【拡充】

- 社会経済活動が再開する中，引き続き感染拡大防止対策を徹底し，第2波への備えを万全にする

### 独自 ◆「福山版対策ガイドライン」の策定 【全国初】

- ・ 職場編，家庭編で発生予防・発生時・終息に向けた段階ごとに整理

### 独自 ◆PCR検査体制の強化のための抗原検査の導入支援 【県内初】

- ・ 市から抗原検査を要請した場合の検査費・受診料等の全額補助を制度化  
当面 1,000 件分

### ◆帰宅困難な医療従事者の宿泊施設確保

- |    |          |      |       |
|----|----------|------|-------|
| 独自 | ・ 民間医療機関 | 30 室 | 9 か月分 |
|    | ・ 市民病院   | 10 室 | 9 か月分 |

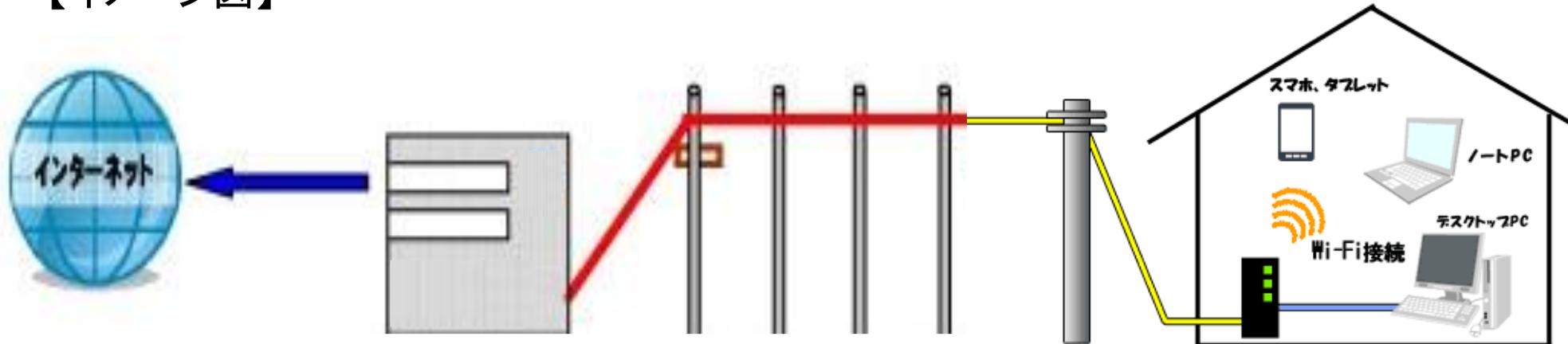
## ② 市民への生活支援と「新しい日常」への対応支援 【拡充】

○ 新しい生活様式を取り入れた暮らしの確立に向けて

### ◆光ファイバ網の整備

- ・テレワークや家庭学習など

【イメージ図】



独自

### ◆「新しい生活様式」提案のための「まるごと実証実験」の実施

- ・先端技術を活用した新しい働き方や娯楽など

### ③ 中小事業者への事業継続支援等 【拡充】

○ 事業者への支援を強化するとともに、新しい生活様式を取り入れた経営改善を支援

独自

#### ◆福山版「スタートアップ支援給付金」

- ・ 創業間もない事業者を対象（フリーランスを含む）
- ・ 固定費（家賃・地代など）3か月分（上限30万円）

独自

#### ◆雇用不安を払拭する対策の強化

- ・ コロナの影響で離職を余儀なくされた方の雇用支援 50人

独自

#### ◆繊維業，農業・漁業，交通事業者などへの支援

- ・ 感染防止対策や事業基盤の強化に取り組む事業者を支援

【参考1】 ◆中小事業者・個人事業主への家賃補助(国事業)

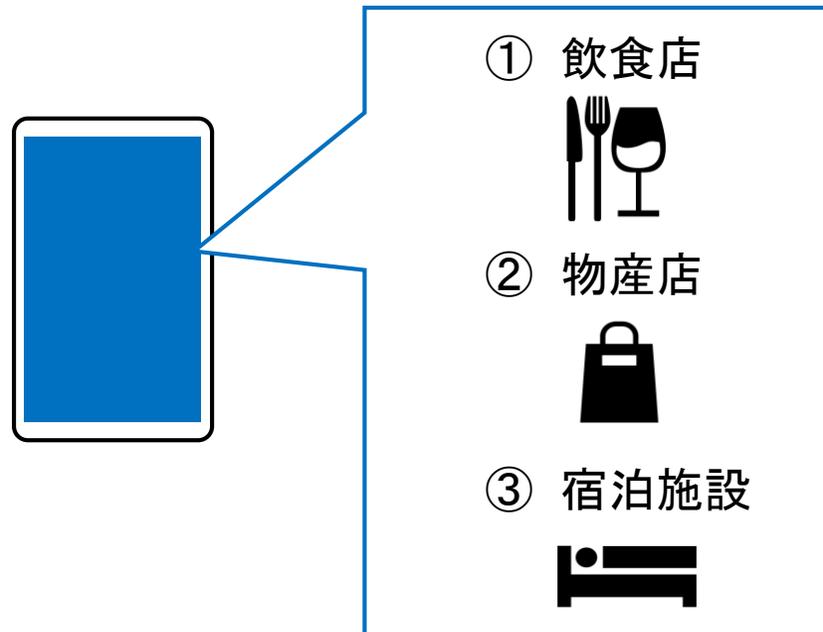
【参考2】 ◆道路空間を活用した飲食・小売等の支援（道路占用の規制緩和など）

## ④ 市民消費の喚起 【新規】

○ サービス業を支援

### 独自 ◆消費喚起キャンペーン ～ポストコロナを見据えて～

- ・ 飲食，観光，宿泊，交通で使えるプレミアム付きクーポン券の発行など
- ・ ECサイトを通じたプロモーションの実施



## 2020年5月25日 市長会見資料

情報提供
2020年（令和2年）5月25日
世界バラ会議福山大会準備委員会 事務局：福山市市民局まちづくり推進部 世界バラ会議推進室
担当：高橋 成規
内線*100-2540 直通 084-928-1210

### 第20回世界バラ会議福山大会の1年延期について

新型コロナウイルス感染症の影響により、次回大会である第19回世界バラ会議アデレード大会が、2021年（令和3年）10月から2022年（令和4年）10月へ1年間延期されたことに伴い、世界バラ会連合、日本ばら会と協議を行い、第20回世界バラ会議福山大会を1年間延期し、2025年（令和7年）に開催することに決定いたしましたのでお知らせします。

世界バラ会連合 世界バラ会議について

世界大会（世界バラ会議）は、世界40カ国が加盟する世界バラ会連合が開催する3年に一度の世界大会。世界各国のばらの愛好家や研究者が集い、研究成果の発表等のばらの講義プログラム、殿堂入りのバラ・優秀庭園賞の決定、ローズショー、庭園視察などが行われる。